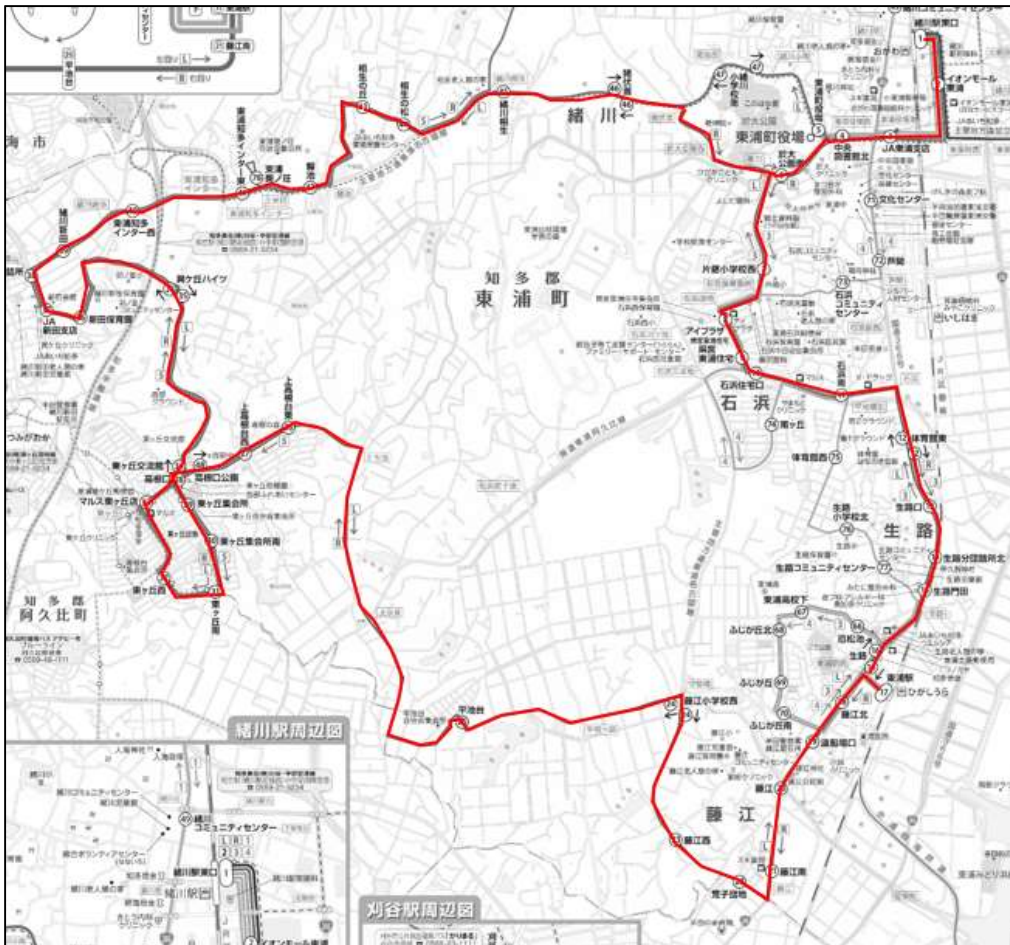


6. 整理統合する路線

(1) 環状線（右回り・左回り）

運行経路	東浦町を右回り・左回りで周回する路線です。 
廃止理由	環状運行を行うことから一便あたりの運行時間が長大となり、速達性の確保や柔軟なダイヤ設定が困難であったこと、また、右回り・東回りでの誤乗車が発生するなど利用者にとってわかりにくい路線となっていたことなどから、平池台線・東ヶ丘線・東浦高校線（旧東浦高校線文化センター経由）に整理統合します。

起終点及び主な経過地・運行回数

環状線右回り		運行回数	距離
系統 ①	相生の丘～緒川小学校南～緒川駅東口 ※通学日のみ	2	3.7 km
系統 ②	平池台～マルス東ヶ丘店～緒川小学校南 ～東浦町役場～緒川駅東口	1	14.5 km
系統 ③	緒川駅東口～東浦町役場～於大公園南～東浦駅 ～平池台～マルス東ヶ丘店～於大公園南～東浦町役場～緒川駅東口	5	26. km
系統 ④	緒川駅東口～イオンモール東浦～東浦町役場～於大公園南 ～東浦駅～平池台	2	10.8 km
系統 ⑤	高根口～マルス東ヶ丘店～緒川小学校南～東浦町役場 ～イオンモール東浦～緒川駅東口	1	10.2 km
系統 ⑥	東浦駅～平池台	1	4.4 km

環状線左回り		運行回数	距離
系統 ①	平池台～東浦駅～生路口～於大公園南～緒川駅東口	1	10.2 km
系統 ②	緒川駅東口～東浦町役場～相生の丘～マルス東ヶ丘店～平池台 ～東浦駅～生路口～於大公園南～緒川駅東口	9	25.3 km
系統 ③	緒川駅東口～東浦町役場～相生の丘～マルス東ヶ丘店	1	11.2 km
系統 ④	緒川駅東口～東浦町役場～相生の丘～マルス東ヶ丘店 ～上高根台東	1	10.3 km

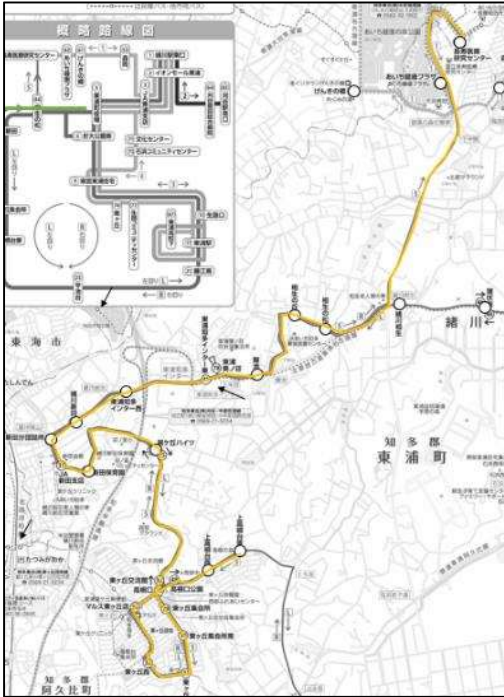
(2) 東浦高校線於大公園南經由

運行経路	緒川駅東口と東浦駅を結ぶ路線です。 
廃止理由	平池台線と東浦高校線の経路と重複しているため廃止します。 この路線で運行していた車両を運行便数が少なかった緒川・卯ノ里小学校区へ転用しています。

起終点及び主な経過地・運行回数

		運行回数	距離
系統 ①	緒川駅東口～東浦町役場～東浦駅～東浦高校下～東浦駅 ～生路口～東浦町役場～緒川駅東口	3	14.9 km
系統 ②	緒川駅東口～東浦町役場～東浦駅	1	6.4 km
系統 ③	緒川駅東口～東浦町役場～東浦駅～ふじが丘～東浦駅	1	8.8 km

(3) 長寿医療研究センター直行便

運行経路	卯ノ里小学校区と長寿医療研究センターを結ぶ路線です 
廃止理由	卯ノ里小学校区の住民が長寿医療研究センターの受付開始時間に間に合うように設定した路線ですが、利用者が平日１日あたり３、４人と少なかったため廃止します。 なお、新ダイヤでは、東ヶ丘線から緒川駅東口で長寿線に乗り継ぐことにより、卯ノ里小学校区の住民が朝の受付開始時間に間に合うようにしています。

起終点及び主な経過地・運行回数

	運行回数	距離
上高根台東～マルス東ヶ丘店～相生の丘 ～長寿医療研究センター	1	14.7 km

D)「う・ら・ら」のダイヤ改正

ニーズ調査で把握した主な課題に対し、下表の対策を講じることで、総合的な利便性の向上を図っています。

	主な変更点	内容
1	通院便の利便性向上	総合病院から緒川駅方面への昼間～13 時台の運行便の発着時刻を見直し、通院便の利便性向上を図りました。
2	午前移動の利便性向上	緒川新田・藤江地区からニーズが高くあった、9 時～10 時台にかけての緒川駅方面への増便に対応しました。
3	最終便の延長	緒川駅から各地区に向かう最終便の発時刻を 19 時以降に延長しました。
4	長寿線と刈谷線の乗継利便性の向上	刈谷線（刈谷駅南口行）の第 1 便に間に合う長寿線（緒川駅東口行）の早朝便の新設や、乗継待機時間の短縮を行いました。
5	休日ダイヤの導入	土日・祝日に利用者が少ない朝の第一便を運休し、年間の総運行時間を短縮することで、最終便の延長等の対応ができるよう調整しました。

(2) 知多バス「東ヶ丘団地線」との連携の強化

A：事業の内容と実施主体

地域公共交通計画施策Ⅰ		方針Ⅰ	方針Ⅱ	方針Ⅲ
事業Ⅰ-3 知多バス「東ヶ丘団地線」の利便性向上		○	○	○
利便増進事業 内 容	「う・ら・ら」を知多バス東ヶ丘団地線と同一経路、同一停留所を運行し、運賃を統一します。			
実施主体	東浦町、知多乗合株式会社			

B：事業の目的

- ・ニーズが多かった「う・ら・ら」の巽ヶ丘駅の乗り入れを実現し、公共交通ネットワークの構築をします。
- ・西知多総合病院への通院を可能にします。
- ・運賃を統一料金とすることで、わかりやすさ・利便性の向上を図ります。
- ・知多バス「東ヶ丘団地線」の運行空白時間帯も「う・ら・ら」が運行することで、東ヶ丘団地を中心としたダイヤの充実を図ります。

4. 事業実施に必要な資金の額・調達方法

令和6年10月に着手予定の利便増進事業の実施に必要な資金の額及び調達方法について、以下のとおり設定及び予定しています。

本計画での実施事業 【利便増進事業】	必要な資金の額	調達方法
① 「う・ら・ら」のダイヤ改正 地域間幹線系統	【2024年度】〇千円	東浦町 千円（委託料） 運賃収入 千円
	【2024年度～2029年度】〇千円	東浦町 千円（委託料） 運賃収入 千円 国 千円（地域間幹線系統）
④ 路線図・時刻表の作成 市内全路線	【2025年度以降】〇千円	・国補助金 ・東浦町支出
⑤ バスロケーションシステムの 運用	【2024年度】1,794千円 【2025年度以降】7,176千円	・国補助金 ・東浦町支出
⑥ 乗り方教室の開催	【2024年度】543千円 【2025年度以降】2,172千円	・国補助金 ・東浦町支出
⑦ 公共交通パンフレット	【2024年度】1,175千円	・国補助金 ・東浦町支出
⑧ 回数券の共通利用	【2024年度10月以降】50千円 【2025年度以降】600千円	・国補助金 ・東浦町支出
⑨ AIカメラの設置・利用	【2027年度以降】〇千円	・国補助金 ・東浦町支出
⑩ （ICカード特典準備）	【2026年度以降】〇千円	・国補助金 ・東浦町支出

5. 事業の効果

1) 事業の効果

実施項目	事業実施の効果	地域公共交通計画 目標の位置づけ
「う・ら・ら」 の路線再編	路線を再編し、巽ヶ丘駅へ乗り入れることにより、町外移動に利用可能な交通手段の増加等、総合的な利便性の向上を図り、公共交通ネットワークの構築が図れます。また、要望の多かった西知多総合病院への通院やおでかけの足を確保できるようになります。 また、環状線が平池台線と東ヶ丘線に分かれることで、目的地が分かりやすくなり、誤乗防止に繋がります。	〈計画目標3〉 「う・ら・ら」各路線・系統の利用者数の増加 基本方針1、2、3
知多バス東ヶ丘団地線との連携強化	知多バス東ヶ丘団地線と「う・ら・ら」の連携・強化により、運賃を統一料金とし、わかりやすさ・利便性の向上を図ります。さらに、知多バス東ヶ丘団地線の運行空白時間帯も「う・ら・ら」が運行することで、ニーズの多かった病院帰りの足を確保します。 また、回数券の共通利用を実施していましたが、乗継利便性の効果が薄かったため、運賃を統一料金とすることで、抜本的な見直しを図ります。	〈計画目標2〉 公共交通利用者数・利用台数の増加 基本方針1、2、3
利便性向上等のためのダイヤ設定、停留所新設、利用促進施策の実施、回数券の共通利用、A Iカメラ設置の導入など	既存の輸送資源を利用実態や需要に合わせて再配分を行い、持続可能な交通体系を維持しつつ、乗換の改善等総合的な利便性の維持・向上を図ります。 また、ダイヤ改正の効果を多くの方に伝える利用促進事業を実施することで、新利用者の獲得を図り、継続的な公共交通の利用に繋がります。また、乗り方教室やパンフレットの発行により、従来の利用者に対しても、引き続き安心して利用できる環境に繋がります。	〈計画目標1、6、7〉 1 公共交通の利用頻度の向上 6 高齢者（65歳以上）の外出頻度 7 年代別外出頻度の向上 基本方針1、2

2) 地域公共交通計画の目標に対する利便増進計画の位置づけ

東浦町地域公共交通計画の目標および評価指標に対する地域公共交通利便増進事業の位置づけは、以下に示すとおりです。

利便増進事業	地域公共交通計画における計画目標の位置づけ			
「う・ら・ら」の路線再編	〈計画目標3〉 「う・ら・ら」各路線・系統の利用者数の増加 基本方針1、2、3	3		
			令和2年度実績値	令和5年度実績値
				目標値(令和11年9月)
		長寿線	33,845 人／年	51,848 人／年
		刈谷線	22,124 人／年	32,300 人／年
		平池台線	—	—
		東ヶ丘線	—	—
		東浦高校線	8,536 人／年	12,497 人／年
		※現状の数値は、令和2年度の実績値 ※平池台線・東ヶ丘線は令和6年10月からの運行のため、現状値の該当なし (参考：令和6年10月廃止予定の系統の利用状況)		
			令和2年度実績値	令和5年度実績値
		環状線(右回り)	46,638 人／年	62,740 人／年
		環状線(左回り)	62,033 人／年	78,824 人／年
		東浦高校線(於大公園南経由)	11,928 人／年	22,942 人／年
		長寿医療研究センター直行便	528 人／年	892 人／年
		※運行経路が同一であるため、東浦高校線(文化センター経		

		由)の実績値を東浦高校線の現状値とする ※目標値は令和4年度の利用実績の利用者比率から設定
--	--	---

知多バス 東ヶ丘団地 線との 連携強 化	〈計画目標2〉 公共交通利用者 数・利用台数の増 加 基本方針1、2、3	2			
			令和2年度 実績値	令和5年度 実績値	目標値(令和11 年9月)
		「う・ら・ ら」	179,539 人／年	255,658 人／年	265,000 人／年
		知多バス 「東ヶ丘団地 線」	31,722 人／年	人／年	→
		知多バス 「大府線」	102,487 人／年	人／年	→
		知多バス 「刈谷中部 空港線」	1,545 人／年	人／年	16,000 人／年
		タクシー	11,122 台／年	16,510 台／年	15,000 台／年
		※現状の数値は、令和2年度の実績値 ※タクシーの利用台数は、東浦町内での乗車台数とする。 ※タクシーの利用台数は、名鉄知多タクシー(株)、大興タクシー(株)、 安全タクシー(株)での合計台数 ※目標値は令和4年度の利用実績の利用者比率から設定 ※利用者数等は運行事業者より報告を受ける。			

利便性向上等のためのダイヤ設定、停留所新設、利用促進施策の実施、回数券の共通利用、A I カメラ設置の導入など	〈計画目標 1、6、7〉 1 公共交通の利用頻度の向上 6 高齢者（65 歳以上）の外出頻度 7 年代別外出頻度の向上 基本方針 1、2	1 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>現状値</th><th>中間目標値 (令和 8 年)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「う・ら・ら」</td><td>0.5 日／月</td><td>0.6 日／月</td></tr> <tr> <td>「う・ら・ら」以外の路線バス</td><td>0.2 日／月</td><td>0.3 日／月</td></tr> <tr> <td>JR 武豊線</td><td>2.0 日／月</td><td>2.1 日／月</td></tr> <tr> <td>名鉄河和線</td><td>0.7 日／月</td><td>0.8 日／月</td></tr> <tr> <td>タクシー</td><td>0.1 日／月</td><td>0.2 日／月</td></tr> </tbody> </table> ※現状の数値は、令和3年8月に実施した「東浦町の公共交通とあなたの外出についてのアンケート」の結果より抜粋 ※目標年次にアンケートを実施し、達成状況を確認する。 6 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>現状値</th><th>中間目標値 (令和 8 年)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者（65 歳以上）の外出頻度</td><td>4.7 日／週</td><td>5.6 日／週</td></tr> </tbody> </table> ※現状の数値は、令和 3 年 8 月に実施した「東浦町の公共交通とあなたの外出についてのアンケート」結果より抜粋 ※目標年次にアンケートを実施し、達成状況を確認する。		現状値	中間目標値 (令和 8 年)	「う・ら・ら」	0.5 日／月	0.6 日／月	「う・ら・ら」以外の路線バス	0.2 日／月	0.3 日／月	JR 武豊線	2.0 日／月	2.1 日／月	名鉄河和線	0.7 日／月	0.8 日／月	タクシー	0.1 日／月	0.2 日／月		現状値	中間目標値 (令和 8 年)	高齢者（65 歳以上）の外出頻度	4.7 日／週	5.6 日／週
	現状値	中間目標値 (令和 8 年)																								
「う・ら・ら」	0.5 日／月	0.6 日／月																								
「う・ら・ら」以外の路線バス	0.2 日／月	0.3 日／月																								
JR 武豊線	2.0 日／月	2.1 日／月																								
名鉄河和線	0.7 日／月	0.8 日／月																								
タクシー	0.1 日／月	0.2 日／月																								
	現状値	中間目標値 (令和 8 年)																								
高齢者（65 歳以上）の外出頻度	4.7 日／週	5.6 日／週																								

		7		
			現状値	中間目標値 (令和8年)
		学生～60代前半	5.9日／週	5.9日／週
		60代後半～70代	5.1日／週	5.9日／週
		80歳以上	3.8日／週	4.9日／週
		※現状の数値は、令和3年8月に実施した「東浦町の公共交通とあなたの外出についてのアンケート」の結果より抜粋 ※目標年次にアンケートを実施し、達成状況を確認する。		

3) 目標値設定の根拠

令和6年10月 新路線の目標値の設定(2024年3月27日編集)

(1) 平池台線の近似値を算出

平池台線は運行前の路線であるため、環状線を2分割して、運行経路が重なる箇所を近似値として算出する。

① 「環状線(左回り)」マルス東ヶ丘店→緒川駅東口の区間の利用者数	34,452 人	← 平池台線(緒川駅東口行)を近似的に表す
② 「環状線(右回り)」緒川駅東口→平池台の区間の利用者数	29,694 人	← 平池台線(巽ヶ丘駅行)を近似的に表す
③ ①+②	64,146 人	

(2) 東ヶ丘線の近似値を算出

東ヶ丘線は運行前の路線であるため、環状線を2分割して、運行経路が重なる箇所を近似値として算出する。

④ 「環状線(左回り)」緒川駅東口→東ヶ丘西の区間の利用者数	35,438 人	← 平池台線(緒川駅東口行)を近似的に表す
⑤ 「環状線(右回り)」上高根台東→緒川駅東口の区間利用者数	35,509 人	← 平池台線(巽ヶ丘駅行)を近似的に表す
⑥ ④+⑤	70,947 人	

(3) 令和4年度の各路線の実績値

⑦ 長寿線	49,123 人	
⑧ 刈谷線	29,405 人	
⑨ 東浦高校線(於大公園南経由)	22,534 人	
⑩ 東浦高校線(文化センター経由)	11,519 人	← 東浦高校線として扱う
⑪ 長寿医療研究センター直行便	828 人	

(4) 令和4年度の実績値における「令和6年10月運行路線のみで小計・路線ごとの利用者数の比率」を求める

	利用者数	R4 比
⑦ 長寿線	49,123	22%
⑧ 刈谷線	29,405	13%
③ 平池台線	64,146	28%
⑥ 東ヶ丘線	70,947	32%
⑩ 東浦高校線	11,519	5%
計	225,140	100%

(5) ③と⑥については巽ヶ丘駅への乗り入れを考慮して、目標値の比率を設定。

	利用者数	目標比
⑦ 長寿線	58,388	22%
⑧ 刈谷線	31,848	12%
③ 平池台線	76,966	29%
⑥ 東ヶ丘線	87,582	33%
⑩ 東浦高校線	10,616	4%
小計	265,400	
乗継券利用者数	5,308	2%
利用者数	260,092 ※	

※総合計画では、2028年の利用者数を260,000人に設定している。

(6) 各路線の利用者数を百の位で整えて、各路線の目標値を決定

	利用者数	目標比
⑦ 長寿線	58,400	
⑧ 刈谷線	31,800	
③ 平池台線	77,000	
⑥ 東ヶ丘線	87,600	
⑩ 東浦高校線	10,600	
小計	265,400	
乗継券利用者数	5,308	2%
利用者数	260,092	

6. 地域公共交通利便増進事業に関連して実施される事業

東浦町地域公共交通計画に記載される事業のうち、地域公共交通利便増進事業に関連して実施する事業は、以下に示すとおりである。

事業名	事業概要	実施主体	実施時期
公共交通の 運賃支払い 方法の多様 化	・「う・ら・ら」回数券を民間バス、タクシーに金券として使用する。 ・「う・ら・ら」の他路線へ、無料で乗り継ぐことができる乗継券を発行する。  回数券の共通利用の案内  乗継券の案内	東浦町 交通事業者	2024 年度～ 2029 年度

公共交通を安心して利用できる情報の提供	・分かりやすい時刻表の作成 ・公共交通の利用を促す「公共交通パンフレット」を作成し、「う・ら・ら」をはじめ、民間バス、タクシー等の乗り方やおでかけ先の提案を行う。 ・バスロケーションシステムによる運行状況の発信 ・利用者の多いバス停や乗り継ぎバス停にデジタルサイネージを設置する。 ・AI カメラを設置し、混雑状況の案内や乗降に関するデータ収集する。	東浦町 交通事業者 地域 企業	2024 年度～ 2029 年度
----------------------------	---	------------------------------------	-----------------------------



公共交通パンフレット



バスロケーションシステム

利用促進事業	・ 巽ヶ丘駅で出発式を行い、「う・ら・ら」の巽ヶ丘駅乗り入れをPRする。 ・ 園児や高齢者に対する乗り方教室 ・ 利用促進を目的とした「う・ら・ら」を利用したイベントの開催 ・ ICカード導入による特典の設定	東浦町 交通事業者 地域 企業	2024 年度～ 2029 年度
--------	---	--------------------------	---------------------



産業まつり

「う・ら・ら」やタクシー車両を使った
乗り方教室と乗務員募集の案内



小学生親子を対象に実施したバス車庫ナイトツアー

公共交通を身近に感じてもらうことを目的に、知多バス本社にて電気バスや整備の見学、洗車体験などを実施した。

7. 東浦町による支援の内容

(1) 公共交通運行費の補助

「う・ら・ら」ダイヤ改正後について、運行経費から運賃収入を差し引いた運行経費の欠損額（赤字相当分）について、国土交通省の補助金を活用しながら、東浦町が負担することとします。

(2) 分かりやすい情報発信

・バスロケーションの運用や GTFS-JP データの活用により、パソコンやスマートフォンによる運行状況やダイヤの案内を発信し、利用しやすい環境を整えます。

・「う・ら・ら」車両を使った乗り方教室やイベントの開催、公共交通パンフレットの作成により、積極的にダイヤ改正後の利用促進を行い、新規利用者の獲得を目指します。

・分かりやすい時刻表の作成とともに、地域版時刻表を作成し、地域に特化したダイヤの案内を提供します。

(3) 地域内交通の導入支援

地域住民主体の協議会等の設置や運営、実証実験等への補助を行い、地域の公共交通を育てるための取組を支援します。

(4) 運転士確保に向けた支援

運転手不足の一助となるように、周知または PR 活動に協力します。